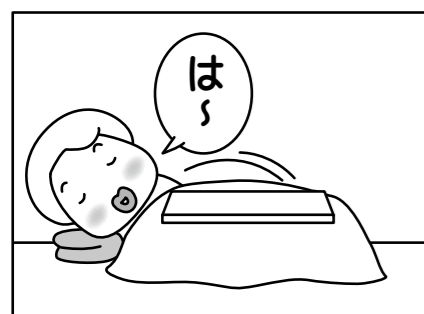


ほんこのころ

作 本町かずこ
おこた



至福のひとつ

■話題 Report

本市の友好都市、埼玉県行田市が誇る“忍城”。昨年公開の大ヒット映画『のぼうの城』の舞台となったお城です。

その忍城と行田市の観光をPRするために結成された「忍城おもてなし甲冑隊」の成田長親（中央）、甲斐姫（右）、柴崎和泉守が1月18日に市役所を訪れました。

3人は本市の印象を「歴史ある街と感じました。今後、白河のイベントに参加して盛り上げたい」と話してくれました。

白河を元気に！

「忍城おもてなし甲冑隊」参上！！



新名物

「きつねみそっかす鍋」完成

ひがし商工会（高橋健会長）とひがし振興公社（佐川琴次支配人、藤田博三料理長）が共同で開発を進めてきた「きつねみそっかす鍋」の完成披露会が1月10日、きつねうち温泉（東釜子）で行われました。

鍋は、みそやこうじ、酒かすなど東地域の発酵文化に着目して考案されました。地鶏から取っただし汁とみそ・酒かすを合わせたスープに、地鶏、イモガラ、ニンジン、ネギ、カブ、「きつね」にちなんだ油揚げを使用した「餅きんちゃく」が入っています。素材はすべて地元東地域産。

1月27日に埼玉県和光市で開かれる国内最大級の鍋料理コンテスト「第9回ニッポン鍋合戦」に参戦します。

高橋会長は「風評被害はなかなか止められないが、これを機に元気を発信していきたい」とコメント。鈴木和夫市長は「昔懐かしい味で、食べ飽きない。コンテストでもこの味が心にきくと響くと思います」と期待を込めました。

鍋はきつねうち温泉でメニューとして取り入れる予定です。
☎きつねうち温泉 ☎1126

■地域おこし Report

■人物 Report

いしむらみやこ
柿の木文庫代表 石村宮子さん

活力の芽を育てる

平成10年に石村宮子さんが自宅一棟を開放し、柿の木文庫（みさか）はスタートしました。以来、子どもに本と居場所を提供し、青少年の健全な育成に尽力してきましたが、昨年9月に休止状態に。しかし、文庫の再開を望む声は大きくなりました。石村さんは、「財政面の目途がつき次第、『ゆっくり急いで』頑張ってみるつもりです」と話しました。

「子どもの成長には、ゆったりした環境の中で過ごせる空間が必要です。子どもたちは、遊びを通して考える力を養い、次の成長の波を起こす力を持っています。そのため大人が子どもたちにストライクゾーンのワクを広げてやり、暴投を受け止めてあげることも大切です」と石村さんは優しい表情を浮かべました。

◆輝きの記録◆

バーモントカップ第22回全日本少年フットサル大会出場
1月4日～6日 / 駒沢体育館、屋内球技場（東京都）
バモス福島フットサルクラブ



▲石村さんは今年度、「県青少年育成県民会議会長表彰」を受賞

